



東明

□令和3年7月21日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根木169番地

将来につながる夏休みに

前期前半の成長を糧に、意志をもった選択と行動を！

令和3年度の前期前半が終了するに当たって、これまでの東中生の成長の姿を、本校の「目指す生徒像」に照らして振り返ります。

学

見通しをもって自ら学ぶ生徒

6月から7月にかけて県教育庁中央教育事務所指導主事、男鹿市教育委員会委員、学校運営協議会の皆様が本校を訪問くださり、授業の様子をご参観いただきました。その方々からいただいた感想をいくつか紹介します。

○生徒一人一人が、今何に取り組めばよいか、どのような方法で学習を進めるのかということ意識しながら学習に取り組んでいた。

○温かい雰囲気の中で学び合いが行われていて、生徒同士、生徒と先生のよい関係ができていた。

○感染症予防のための対策を取りながら、できることに精一杯取り組んでいる生徒の姿がみられた。

これらは正に学ぶ生徒像そのものでした。今後の成長を更に期待していますとのお言葉をいただいています。

挑

自信をもって笑顔で挑戦する生徒

中学校総合体育大会や吹奏楽コンクールでは、お世話になった方々に感謝の気持ち

をもち、身に付けた体力と技能、精神力を発揮しました。市郡大会では多数の入賞を果たし、県大会においてもその勢いはとどまるところを知らず、バスケットボール女子、柔道女子団体及び個人、陸上競技、卓球男子個人が東北大会進出という、快挙を成し遂げました。また、吹奏楽部は、コンクール中央地区大会において金賞を受賞し、県大会へ駒を進めています。全力で挑戦し、心身ともに大きく成長した証です。本校のみならず、地域の皆さんにも元気と勇気と感動をもたらしました。夏休みに行われる東北大会での一層の活躍を期待しています。

結

仲間や地域と絆を結ぶ生徒

6月2日の運動会が行われました。色別応援合戦では、練習の段階から3年生が率先して大きい声とアクションで模範を示す、そして、それを支えようとする1、2年生の姿がありました。3年生のリーダーシップと1、2年生のフォロワーシップが見事に融合した瞬間、東中生の絆が結ばれた瞬間でした。

東中生が、目指す生徒像の実現に向かって、着実に、そして、たくましく前進している姿が見られた前期前半でした。

意志あるところに道は拓ける

これは、アメリカの第16代大統領、エイブラム・リンカーンの言葉です。自分の道は、自分の意志と行動で切り拓かれるという意味です。この言葉を、これから夏休みを迎える東中生に贈ります。

私たちは、毎日、「選択と行動」を繰り返しています。朝起きてから夜寝るまでの時間をどう過ごすのかという選択と行動です。

このように言うと、学校の授業は自分が選択したのではないと思うかもしれませんが、授業中の行動を考えてみましょう。同じ授業でも、人によってその成果が異なるのは、理解しよう、できるようになるという意志をもって臨んでいるのか、ただ漫然と受け身で臨んでいるかの差によります。

夏休みの過ごし方も同様です。意志をもって、学習を毎日こつこつ積み重ねた人は、その積み重ねが大きな力になって自分に返ってきます。そして、やり遂げた自信と満足感にあふれ、それが次の学びへ

の原動力となります。部活動に休まず参加して熱心に練習に励んだ人は、秋になって体力が付いたり、演奏や作品に磨きがかかったり、実力が付いたことに自分でも驚くことでしょう。「意志あるところに道は拓けた」のです。

人間は意志のある存在です。ですから、なりたい自分に近づくことができるのです。これから始まる夏休みに、自分の目標に向かって少しずつでも頭や体のトレーニングに励んでみましょう。日々の努力は、決してあなたを裏切ることはありません。

男鹿東中学校の教育目標は、「英志つらぬけ」です。自分の将来につながる道を拓くための鍵は、自分自身の意志、つまり「英志」です。夏休みに皆さんが会う様々な選択場面で、自らの「英志」で、自らの将来につながる選択と行動ができるよう、期待しています。前期前半、大きな成果を残した皆さんならそれができると信じています。

(文責 森山)